

# 「一斉学力テスト」は子どもの人間発達に歪みをつくり有害 どの子ども勉強がよくわかり、人間として大切にされる教育を

東京都教育委員会が1月に実施した小学五年生と中学二年生全員を対象にした「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(一斉学力テスト)と「成績」(平均正答率)の公表は、多くの教育関係者が「子ども・学校・地域間の競争を煽り、子どもの人間発達や学校教育に歪みをつくり出し有害」と指摘しています。

## 児童生徒全員に学力テストを実施する足立区では 教師や子どもに激しい競争・教育現場に大きな混乱と困難

2004年度の都の学力調査結果で23区中最下位とされた足立区は、2005年度から、小中学校の児童生徒全員(小一を除く)に学力テストを実施し、学校ごとの平均点も発表してから、学校教育に大きな歪みが生まれています。

「どうしても成績が気になるし、授業も、テストに出る内容ができるようにすることが中心になってしまう」と足立区の小学校教諭は言います。

学力テストの点数を上げるため、繰り返し同じような問題や「過去問」をやらせる授業や指導が行われています。「年明け実施の都の学力テスト対策に、冬休みは各学年2教科に10枚近くのプリントを出した」「テストの一週間前に、通常の授業を削り、2時間使ってプレテスト(模擬試験)をやらせた」という教師もいます。

学校の平均点を上げるため、足立区内のある中学校では、テスト前日に担任が「最後まできちんと受けられないなら来るな」と生徒を指導し、少なくない男子生徒が欠席するという事態まで起こりました。今年も足立区では4月に独自のテストが実施されました。始業式から1、2週間は新しい教科書には手をつけず、前年度の復習、過去問、類似の問題の反復練習に集中します。

**不正も発覚・・・マスコミでも報道されたように、足立区の学力テストで一位になった小学校で不正が行われていました。** 校長と5人の教員がテスト中答案をみてまわり、誤答をしている児童に指で「トントン」とたたいて示唆をあたえたり、学習に遅れのある児童の答案を全体集計から除外するなどしていました。

**学校毎の成績公表と学校選択の自由化で入学者ゼロの学校も...荒川区**

荒川区の「学校合同説明会」では、各校が学校紹介をしますが、そこでは学力調

査の結果も学校を選ぶ資料とされています。同区では、2003年度に入学者ゼロとなる小学校もありました。

人気があって児童生徒が集中する学校では、教室が足りなくなったり、一人ひとりへの指導が行き届かなくなり。人気のない学校は児童生徒数の減少で教師の数も減らされ、学力が低下するなどの事態も起こっています。

## テスト業者が児童・生徒の情報を独占

このような学力テストに多額の税金が使われています。荒川区と足立区のテストはそれぞれ1500万円、5000万円をかけ、テスト業者ベネッセに委託されています。

一企業が生徒の情報を独占することに、父母の不安が高まっています。学力調査にある親へのアンケートには子の出席番号がふられており、個人の特定が可能です。

ある教材業者から「おたくのお子さんの都の中の順位を教えましょうか」という電話を受けた母親もいるそうです。

## 不適切なテスト問題で子どもを評価するな...現場教員が怒り

これまで出題された問題のなかには、問題そのものが不適當・不適切であったり、どれが答えか首を傾げざるを得ない問題が多々見受けられることが研究者や現場教職員から指摘されています。

生徒がどれだけ自然現象への関心・意欲・態度をもっているかを判定する問題例(中学校)で下のようなのがあります。

台風が近づき、風雨が強くなりました。あなたならどのようなことをすればよいと思いますか。

あなたの考えに一番近いものを1つだけ選び、番号で答えましょう。

- 1 . テレビなどの天気予報を見て、気象警報・注意報について確認する。
- 2 . 外に出て、風雨の強さを調べたり、川や海のようなすを観察したりする。
- 3 . 雲の画像やアメダスなどの情報を見て、台風の進路について予想する。
- 4 . まどをしめるなど戸じまりを確認したり、防災用品を点検したりする。

はたしてどれが「正解」というのでしょうか。(裏面へ)